

議 事 録

会議名	第 1 1 回理事会		
No.	理事会－ 0 1 1	文責	岸田、神田
開催日時	平成 26 年 5 月 18 日（日） 14:00～17:00	開催場所	辟雍会館第 4 会議室
出席者 【敬称略】	7 期 丸山、15 期 荒井、18 期 関、柳本、中谷、岸田、20 期 川田、25 期 神田、 30 期 野久尾、根本 【監事】 25 期 宮下 【議長・副議長】 5 期 山本、16 期 川上		
会議の目的	定時理事会		

内容

【理事会開催に必要な定足数の確認】

理事総数 17 名中 10 名の出席があり、理事会開催に必要な過半数出席の要件は満たしている。

【議事】

1. 平成 25 年度活動報告

平成 25 年度の貸借対照表を含む一連の計算書および活動報告書については、下記①～③に挙げた内容が確認された。これら必要な変更点を反映させることを前提に、常任幹事会に付議することが承認された。

①平成 25 年度決算関連の内容確認

収支計算書に関して

- ・本年 2 月に行ったスキー旅行の際にいただいた寄付は、5 月に入ってから報告を受けた関係で、来年度の計算書に反映される。
- ・寄付としてまとめて記載されている金額を、どこからの寄付か、詳細を記載することとする。
- ・同窓会の慶弔規定にもとづき香典を送った先を明記する。
- ・ホームページ制作費として予算内の 1,941,600 円を支出したが、3 月初めの同窓会会報創刊に際しての寄付など同窓生の方々から多額の寄付をいただき、平成 25 年度全体の収支差額は当初予算では $\Delta 1,807,700$ 円であるところ、決算では $\Delta 17,420$ 円に留まった。

②平成 26 年度収支予算書について

- ・参加者からの参加費のみで行われる活動は予算書には記載せず、活動計画書のみで載せる。参加費をとる事業と同窓会独自予算で行う会議をきちんと分け、同窓会独自予算で行う会議については会議費予算を計上することとする。
- ・わかたけ会への寄付
今回のように同窓会に対し多額の寄付をいただいた時は、若竹会への寄付を通常より金額を上乗せをしていきたいが、通常より高い寄付金額を固定するのは、それがノルマになってしまう危険性がある。次年度以降のことも考え、毎年の寄付のベース金額は 30 万円と決める。その上で 26 年度はこれに 40 万円をプラスし合計 70 万円をわかたけ会へ寄付することにするが、これは 26 年度に限った増額であることをわかたけ会へしっかり伝えることとする。

③平成 25 年度活動報告書の内容確認および平成 26 年度活動予定について

- ・各活動への同窓生のより多くの参加を得るため、参加者欄には参加された恩師のお名前を入れることとする。

2. 役員人事・名誉職人事

①討議に先立ち現理事長の 7 期丸山氏から、今期をもって理事長を退任する旨発表があった。

また、理事会提案議題等の資料は予め理事会招集者（理事長）の最終承認を得るよう指摘された。

②常任幹事会の議長、副議長が理事会に出席できないと、理事会での議論の内容が分からないまま

常任幹事会の議事進行を行うことになるので、常任幹事会の議長、副議長が理事会に出席できるよう定款を変更することが望ましいとの意見が述べられた。

③ 討論の結果、以下の人事案が承認され常任幹事会に付議することとなった。

承認された理事会役員（担当職務は新理事会にて最終決定する）

理事長 15期 荒井耕一郎

副理事長 18期 関俊夫、20期 川田紀雄（理事長代行）、25期 神田薫、30期 根本学

常務理事 13期 立花恵美子、18期 中久保慎一、18期中谷和夫、18期 柳本婁美、

18期 岸田れい子、30期 野久尾悟

理事 34期 力野邦人、41期 宮田浩志、46期 阿部慎史

監事 25期 宮下真美、30期 湊信明

常任幹事会議長・副議長

議長 12期 小川忠夫

副議長 14期 大畑雅子、16期 川上純二

なお名誉職の就任依頼基準は次の通り（一部）

- ・ 常任顧問 : 会長・理事長・議長経験者
- ・ 特別参与 : 母校教職員になられている同窓生
- ・ 常任参与 : 理事・監事経験者
- ・ 参与 : 同窓会に対し寄付等をされた方

3. 常任幹事会にて報告予定の「同窓会費私的流用事件調査委員会報告書概要」の精緻化

荒井調査委員長により、2013年12月15日開催の理事会において決議された通り、次回常任幹事会において、本件に関する理事会決議の概要を報告するにあたり、その内容・提出される資料が報告され、承認された。

以上
